

2025年12月4日

各位

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

MEJAR サステナビリティソリューション連携の取組み拡大について

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）と北海道銀行（頭取 兼間 祐二）、横浜フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 片岡 達也）と東日本銀行（頭取 助川 和浩）、十七銀行（頭取 小林 英文）および広島銀行（頭取 清宗 一男）は、「MEJAR サステナビリティソリューション連携」（※）の一環として、初めて合同でのサステナビリティソリューション提案力強化を目的とした職員向けの研修を実施しますので、お知らせいたします。

（※）・[2022年9月26日付「MEJAR 参加行とのサステナビリティ分野の商品・サービスに関する連携について」参照](#)
 ・[2023年3月17日付「広島銀行の「MEJAR サステナビリティソリューション連携」への参加について」参照](#)

記

1. 実施経緯及び目的

近年、気候変動対応や人的資本の開示など、サステナビリティ経営の重要性が急速に高まる中、地域企業においても限られたリソースの中で課題を整理し、実効性のある取組みを進めることが求められています。

「MEJAR サステナビリティソリューション連携」は、サステナビリティに関する情報の共有や、商品・サービスの高度化に向けた連携を通じて、それぞれのお客さまのサステナビリティ経営を支援していくことを目的に、連携協定を締結しております。

今後、多様化および拡大していくサステナビリティ分野におけるお客様の課題解決にお応えしていくためにも、職員の提案力向上がきわめて重要です。各行の知見やノウハウ、情報を最大限に生かしながら、ともに人材育成を強化していくことが本研修の目的となります。

2. 研修概要

受講対象	各参加行の本部担当者・法人営業部門担当者 等
受講人数	35名（参加行より各5~6名が受講）
主なカリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サステナビリティ・コンサルティング手法 (経営課題の特定、因果構造分析、ソリューション設計 等) ➤ 課題解決のアプローチ検討 (各行代表事例の共有、グループワーク、提案立案 等)
講師	GLN Impact Capital 合同会社

3. 該当するSDGsの目標



SDGsはSustainable Development Goalsの略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

ほくほくフィナンシャルグループ
北陸銀行
北海道銀行

SX推進部

経営企画部サステナビリティ推進グループ

経営企画部サステナビリティ推進室

TEL(076)423-7331

TEL(076)423-7111

TEL(011)233-1009